

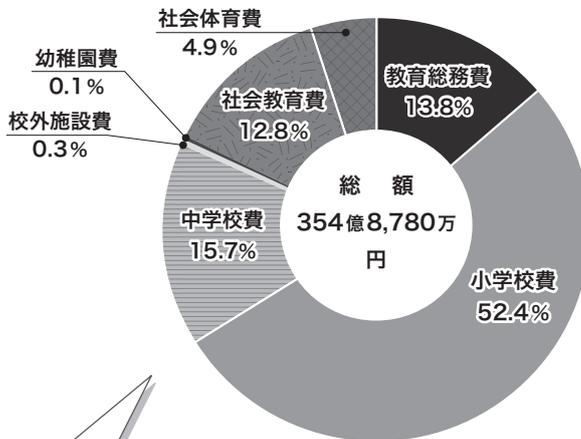
令和6年度 教育費予算の概要と主な事業

教育総務課 ☎03-5654-8449

教育委員会では「かつしか教育プラン(2024~2028)」に基づき、より必要性の高い施策に予算を重点配分しています。詳しくは区ホームページをご覧ください。各事業の金額は100万円未満を四捨五入しています。

令和6年度当初予算 教育費の内訳 (金額は千円単位を四捨五入)

	予算額	主な使い道
教育総務費	49億 268万円	教育委員会の運営、教育情報化、小中合築校舎等の建設など
小学校費	186億 451万円	小学校の管理運営、校舎の建て替え
中学校費	55億6,614万円	中学校の管理運営、校舎の建て替え
校外施設費	1億 347万円	日光林間学園の管理運営
幼稚園費	3,522万円	区立幼稚園の管理運営
社会教育費	45億4,431万円	生涯学習や青少年育成、図書館の運営など
社会体育費	17億3,147万円	体育施設の管理運営など
合計	354億8,780万円	



令和6年度の教育費は令和5年度と比較して91億4,346万円(率にして34.7%)の増となりました。区の一般会計(2,398億5,000万円)のうち、14.8%を占めています。

学校施設等を活用した放課後子ども支援事業 (5億3,300万円)

放課後等における児童の見守り体制の充実を図るとともに、わくわくチャレンジ広場の対象学年の拡大や、三季休業日の実施校を増やしていきます。6年度は、水元小学校、道上小学校校内及び新小岩地域に学童保育クラブを整備していきます。また、新たな待機児童対策として、学校内の諸室を活用した放課後の居場所づくりの学童保育クラブ待機児童解消見守り事業を実施します。

かつしかチャレンジプログラム (1,200万円)

学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に「自然科学コース(科学教室)」「小・中学生対象」「プログラミングコース」「English challengeコース」(中学生対象)を実施します。参加児童・生徒はコンクールや検定試験等に積極的に挑戦します。

発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実 (1億6,500万円)

発達障害等のある児童・生徒に対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全区立小・中学校で実施するほか、「多層指導モデル(デジタル版M I M)」を引き続き実施します。また、「クラス支援員」を配置し、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。さらに、子どもとの関わり方に困っている保護者向けの「ペアレントトレーニング」を拡大して実施します。

日本語指導の充実 (7,000万円)

日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な児童・生徒に対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を、新小岩中学校内に開設します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行うとともに、日本語の理解が十分でない児童・生徒やその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため日本語通訳を派遣します。

不登校対策プロジェクト (7,800万円)

登校できない状況にある小学4年生以上の児童・生徒のための「ふれあいスクール明石」を運営します。また、登校はできないものの教室に入ることができない子どもを支援するための「校内サポートルーム」を6年度は中学校3校で開設します。さらに、7年度に向けて、5校の開設準備を行います。

学校施設の改築 (131億8,800万円)

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築・改修等を推進していきます。6年度は次の学校で引き続き改築を進めます。

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校、木根川小学校・渋江小学校・中川中学校

中学校部活動の地域移行 (2,800万円)

部活動の地域への移行を検討するため、中学校1校で新たに地域クラブ活動を試行的に実施します。

また、学校の状況を考慮しながら、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置の充実を図ります。

私学事業団総合運動場の活用 (1億400万円)

区民の健康づくり・スポーツ振興の一層の促進に向け、区の体育施設((仮称)東新小岩運動場)として整備し、活用していきます。